

休校期間中の学習アドバイス = 中学受験科 =



★ 小5 受験科

《国語》

- ・ テキストのすでに学習した単元（第1回～第6回）の「確認テスト」を仕上げましょう。
- ・ 「漢字日記」の第1回～第6回について、知識問題もふくめて復習しましょう。
- ・ 「漢字日記」第7回以降の漢字・知識問題については、先どりして練習してもかまいません。

《算数》

- ・ テキスト第1回～第7回までの復習（類題・基本問題を中心に）
- ・ 「計算日記」第1回～第7回までの反復練習
- ・ 第8回例題・類題・基本問題の予習
- ・ 分数の計算はこれから算数の勉強を進める上で最も大切になります。数多く練習して、速く正確な計算ができるように、間違いのない手順を身につけましょう
- ・ 「計算日記」は何度でもくり返して練習をしなければなりません。

受験算数は先を急いで焦る必要はありません。基本例題のくり返しを通じて、それぞれに応じた図や式を立てていく訓練をしましょう。問題を読みながら手が動くようになることを目指してください。

《理科》

- ・ テキスト・実力アップ問題集の第1回～第7回までの復習
- ・ 第8回、第9回の予習
- ・ 理科は暗記する内容がとにかく多いですから、この機会に既習単元の暗記をしっかり心がけてください。テキストをながめるだけでなく、必ず問題に取り組んでチェックしましょう。
- ・ 「空気や水の温度による変化」では状態変化をするときの体積の変化のしかた、変化をしている途中の温度の変化のしかたをしっかりと整理して覚えましょう。
- ・ 「天気の変化」では低気圧・高気圧のしくみをしっかりと覚えてください。また、谷風～山風・海風～陸風のしくみをきちんと整理して覚えてください。季節風の理由や偏西風などもお忘れなく！

《社会》

- ・ 春季講習中に第8回の途中まで学習しています。テキスト・実力アップ問題集のトレーニングや基本問題はすべて解答できるよう、復習しておきましょう。
- ・ 時間がありますから「都道府県名・県庁所在地名（漢字で!）」や、白地図作業帳（←どこからどれだけやってもかまいません）を使って工業地帯や伝統工芸品の産地、山地山脈などの地形もいまのうちにまとめて頭に入れておきましょう。

★ 小6受験科

《国語》

- ・ 「コンプリーション」をできる限り進めてください。
- ・ テキストのすでに学習した単元（第1回～第7回）の「確認テスト」を仕上げましょう。
- ・ 「漢字日記」の第1回～第8回について、知識問題もふくめて復習しましょう。
- ・ 「漢字日記」第9回以降の漢字・知識問題については、先どりして練習してもかまいません。

《算数》

- ・ テキスト、「実力アップ問題集（基本問題・基本演習）」、「計算日記」をそれぞれ第1回～第10回までの復習。
- ・ 「コンプリーション」第1節～第18節の計算トレーニングと基本チェック（1週目は毎日1節ずつ、2週目は間違った問題の復習をしましょう）。

《理科》

- ・ 実力アップ問題集（基本演習）第1回～第10回までの復習
- ・ 「コンプリーション」第1節～第26節の「確認しよう」と「基本チェック」（毎日2節ずつ2週）

《社会》

- ・ 実力アップ問題集第1回～第7回までの復習
- ・ 「コンプリーション」地理分野の復習徹底
- ・ 日本国憲法の前文と条文を読んで頭に入れ、穴埋め問題に備えましょう。
- ・ 三権分立の関係図は矢印の向きにも気をつけて、書けるようにしておきましょう。

受験生の皆さんへ

受験生としてスタートした直後に、このような形になってしまい、不安な人もいることでしょう。しかし、焦ることはありません。そもそも中学受験のカリキュラムは夏休み前に必修単元が終わり、夏休み以降はすべて復習に充てられるように設計されています。いまここで2～3週遅れたとしても、取り返すチャンスはたくさんあります。Miraizでも少し余裕を持ってカリキュラムを消化しています。むしろ、ここでまとまった時間がもらえたことをチャンスだと考えてください。

私たちが心配しているのは、塾がないのをいいことに自分勝手な言い訳で勉強をサボっている人がいないかということです。「宿題が出てないからやらなくていいんだ」などと甘えた考えを持っている人がもしいたら、ハッキリ言わせてもらいますが、中学受験をする資格がありません。

この休みに勉強しなくていいほど、どの科目のどの単元も完璧に習得してきたのでしょうか？特に小6に入ってからはどの科目も難しくなっているはずですが、皆さんにはいま有り余るほどの時間があるはずから、できることはいっぱいあります。ここで油断してサボる人と、この時間を有効活用して弱点強化に努めた人とは、入試でものすごく差がつくでしょう。いつ授業が再開してもいいように、決して気を緩めることなく、いまできることに集中して、足下をしっかりと固めてください。無理に先取り学習を進める必要はありません。私たちが必ず間に合わせますから、Miraizを信じてください。